

工法ナビゲーションシステムは、2月末で ご利用登録 2,200 名を超えました。 改築推進工法、HDD 工法、更生工法を追加予定。

2003年10月本格運用開始以来、新規ご利用登録者は月当たり100名を越すようになっており、今年1月末で2,000名の大台を突破しました。その2000番目の登録者の方には、工法ナビからささやかですが記念品を贈呈させていただきました。今後も、キリ番(千単位などの)登録者の方には記念品の贈呈などを続けていきたいと思っています。

今年度は、さらに改築推進工法、HDD工法、管路更生工法を工法ナビゲーションのメニューに追加を予定しております。

特に、改築推進工法や(本誌No.50で特集)、管路更生工法(本誌No.51~52で特集)については、現在、

注目されている維持管理部門の工法であり、利用者から工法ナビゲーションで利用したいとの要望が数多く寄せられていました。ただいま、各工法協会からカタログや技術資料等の提示協力をいただき各工法の登録準備をしております。今年度上半期には新メニューとしてご利用ができるよう作業を進めております。

普及促進の活動

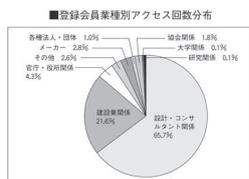
工法ナビでは、システムの利用促進のため、普及促進の活動を広く行っております。

去る2月17日には札幌コンベンションセンターにおいて(社)日本下水道管渠推進技術協会北海道支部が主催する推進工事関係者向けの第18回推進工事関係安全・技術研修会の中で工法ナビゲーションシステムの説明会を行いました。参加者は北海道内の工事発注者やコンサルタント、施工業者など150名ほど。同会場の大型スクリーンにパソコンの画像を映し出し、実際に工法ナビゲーションシステムを操作して、インターネット上で工法の比較や推進工法の最新情報、よろず相談のシステムなどを説明しました。翌日の北海道建設新聞には、同研修会の記事が掲載され、2月23日付けの同紙には「好評です工法ナビゲーションシステム」「推進工法の比較や最新の技術情報提供」との記事が大きく取り上げられました。

後日、北海道内からの新規ご利用登録者数が増加し、アクセス数も大幅な増加率となり、北海道での説明会のPR効果と思われまます。

ほかにも雑誌や新聞などで工法ナビゲーションシステムが取り上げられることが多くなりました。

2005年2月号の月刊下水道(Vol.28 No.2, 48~49p)では特別企画「下水道の扉、ホームページのいろいろ」においてホームページの活用例として「工法ナビゲーションシステムの使い方」が2ページにわたり掲載されました。記事内容は記者が実際に工法ナビ



■資料提供する加盟企業団体

国土交通省	建設省	国土院	国土院	国土院
国土院	国土院	国土院	国土院	国土院
国土院	国土院	国土院	国土院	国土院
国土院	国土院	国土院	国土院	国土院
国土院	国土院	国土院	国土院	国土院
国土院	国土院	国土院	国土院	国土院
国土院	国土院	国土院	国土院	国土院
国土院	国土院	国土院	国土院	国土院
国土院	国土院	国土院	国土院	国土院
国土院	国土院	国土院	国土院	国土院

ビジネスツールとしてさまざまな活用方法が考えられているホームページ。ここでは、双方向の情報交換を可能にした「工法ナビゲーションシステム」のホームページを紹介する。

管理・運営しているのはJSTT日本非開削技術協会。「この場合、どのような工法が対応できるのだろうか?」という時に、現場の条件等を入力すると適応する工法がリストアップされるシステムである。

もともと「推進工法の選定」から始めたサイトだが、今では「小型立坑工法の選定」や「よろず相談」もできる。もちろん、各工法資料のダウンロードも可能だ。

工法は、37団体(平成16年12月1日現在)からの資料提供によるもので、この1年間で、ユーザー登録者1,700、アクセス件数17,600となった。

「工法ナビ」を使っていること

- ① 資料・ダウンロード・問い合わせ
- ② 工法の選定(推進工法、小型立坑工法)
- ③ 推進工法の基礎知識等の概要
- ④ よろず相談
- ⑤ 人気工法のランキング情報

※ 改築推進工法とHDD(誘導式水平ドリル)工法についても、今年度中にアップロードされるので、期待されている。

